

令和 6 年 9 月 24 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム生馬の郷

サービス種類…（介護予防）認知症対応型共同生活介護

次の会議開催予定日…11 月

開催場所…グループホーム生馬の郷 相談室

出席者

事業所	3 人	利用者	0 人
利用者家族	1 人	地域代表者	3 人
松江市職員	0 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	人	その他（ ）	人

議事・議題

●夜間想定避難訓練の様子を見てもらい、その後、質疑応答とする。

- ・自動通報装置とスプリンクラーは義務付けとなっている。
- ・日頃から火災にならないように、コンセントの埃など掃除するようにしている。
- ・避難したら、居室の表札を裏返し一目で分かるように『避難済み』にしている。
- ・今の季節は窓が閉まっているが、火災の際窓が開いていたら閉めなければいけない。
- ・火元の方から避難し、避難場所へ移動しても理解できずに戻られる可能性があり、避難先で利用者を見てくれる人も必要。

(比津交番)施設の職員だけで考えずに、119 番通報があれば 110 番へも連絡があり、4～5 分でかけつける。

(包括)実際、眠剤を服用している方もいると思うので、避難の際はもっと大変だと思う。職員同士の声かけが良かった。

(区長)想定外のことは必ず起こるので、日頃の訓練が大切。

(家族)停電時、非常灯はつくのか？今日は昼間したので明るかったが、実際は暗くて大変だと思う。

⇒停電しても 15～30 分は非常灯がつくが、点灯場所に限りがある。各ユニットのホールに懐中電灯があるので使用できる。両手が使えるように紐がついてある。

(民生委員)車イスの方、避難の際、ベッドから車イスへの移乗をしなければいけないので大変だと思った。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○